

行動する・走る「うつくしま汗かき人」長尾トモ子の日記から

◆3月29日◆ 不妊治療の方々に光を!!

子どもが欲しくてもなかなか授からない方がおります。桑野の「乾マタクリニック」の乾院長、水野研究員、日大工学部尾股研究室の村山助教授にお会いし、乾マタクリニックと日大の不妊治療の共同研究についてお聞きしました。体外受精、人工授精などの研究が進んでおり、子どもを産みたい方にとって、光が見え始めて来ております。県や郡山市でも、少しずつ治療費の一部を助成しておりますが、これから産みたい人が産める環境づくりを支援して参りたいと思います。



◆4月10日◆ 逢瀬川流域はみんなでひとつ

逢瀬川河川愛護団体には、「逢瀬川を愛する会」「富田第3区愛護会」「親水広場愛護会」「前川原河川愛護会」「大島自然ふれあい広場愛護会」「馬場川・逢瀬川河川愛護会」「桜木地区河川愛護会」「逢瀬川ふれあい通り実行委員会」などがあります。地域がひとつになって皆で協力しながら『ふるさとの川「逢瀬川」』を守って行こうと誓い合いました。これからの活動が楽しみです。

◆4月16日◆ 富田1区町内会お花見 お隣さんの連携は大きな力

逢瀬川親水公園で、1区町内会の方々のお花見がありました。花壇に花を植えたり、河川にこいのぼりを40匹揚げたりし、地域の風物詩になっております。ふるさを思う心、ご近所同志のつながることの安心感、連帯感、今一番大切に必要な事です。少し肌寒かった日でしたが、皆さんの笑顔が一つになり、生き生きと輝いておりました。

地域からの下記要望を、それぞれ窓口に伝えました。順番待ちながら必ず対処するとの事です。

- ①防犯灯の設置の件
- ②富田西小学校西側の横断歩道の件
- ③逢瀬川沿いケヤキの木の件
- ④農業試験場空家撤去の件
- ⑤農家民泊の件
- ⑥カーブミラーの件

長尾トモ子へのアクセス
ホームページ <http://www.nagaotomoko.info/>

◆4月29日◆郡山私立保育園協議会のこいのぼり掲揚

郡山私立保育園協議会は、35施設1500人が入園している会ですが、イオンタウンの協力を頂き当日420名の親子が、それぞれ保育園で作ったオリジナルこいのぼりを掲げました。又、有機農法で『けるぶ農場』を営んでいる佐藤三郎さんの曲「おにぎり」のうたや「こいのぼり」のうたを皆で元気に歌いました。当日は天気も良く、青空に悠々とこいのぼりが泳いでいる姿を見て、子ども達もこいのぼりのように健やかに育って欲しいと心から願いました。



◆4月30日◆ 小規模作業所オープンサロン「宇宙」(そら)の利用者 西牧さゆりさんから話を聞きました。

生まれながら、又は途中で脳や体に障がいをもってしまった方も、自分らしく生き生き生活するために、小規模作業所で働きながら生活しております。年々、国の財政の厳しくなる中で、どうしても障がいのある方にシワ寄せがあります。入所者の方々に、どこを支援し、どこを自立してもらうのか行政が考えて行くべき大きな課題です。

◆5月21日◆ 『YOSAKOI in 郡山』熱狂の中で迫力の演舞!

昭和29年に高知で始まった YOSAKOI 踊り。平成4年に北海道に飛び火し、ここ郡山では、「in 郡山」として、平成13年から始まりました。今年も駅前広場・中町夢通り・イオンタウンで演舞され、北海道の“ワミス踊り子隊美翔女”はじめ、県内各チームが、力強く華麗に踊り、見る人に熱い感動を呼んでおりました。(YOSAKOIの母/長尾より)



福島県議会議員 長尾 トモ子

とどこ だより

皆さまの声を県政にお届けします。



長尾トモ子
福島県議会議員
自民党県連福祉環境部会委員
県議会農林水産委員会委員

< 後援会事務所 >
〒963-8041
福島県郡山市富田町
上鶴蒔田6-34
TEL: 024-951-0341
FAX: 024-951-8961
tomokon@circus.ocn.ne.jp

皆さまのご意見を郷土づくりに役立てます。県政へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せ下さい。

新緑の美しい季節になりました。皆様にお支えを頂き、県議員として働かせて頂き、4月10日で1年が過ぎました。この間、6月、2月と2回議場で一般質問させて頂きましたが、皆様には傍聴にお越し頂き、ありがとうございました。この1年をふり振り返り、農林水産委員会に所属しているために県内各地の視察をして参りました。それぞれ環境や気象条件が違いながらも頑張っている方々に現地での説明を受ける毎に、福島県はまさに豊かな農業と人々の知恵によって支えられていると実感して参りました。又、何と言いましても私の議員としての中核を成す事は、「子育て支援」「少子化対策」です。子ども達が健やかに生まれ、育つ環境を作るために、子育て中の方々の意見、幼稚園、保育園、子育てサークルの方々の意見を聞いたり、小児科医や産婦人科医の話をお聞きしながら何に対し支援し、何を自立的に考えて頂きたいのか



小坂文部科学大臣に
私学団体と要望(東京於)

を見極め、県・国・市との連携の中で、真に子ども達が心豊かに育つよう皆様の声を政策決定の場に届けたいと思いません。福島県では、佐藤知事も秋口を目途に、子育て支援に思い切った施策を考えているとの事ですので、おおいに期待して参りたいと思えます。そのほか不妊治療のお金がかかり、子どもを生みたくても生めない人のために不妊治療に支援して行きたいと思えます。

幼稚園、保育園の一元化を目指し認定子ども園創設に向けた就学前保育等推進法案が、4月14日から衆議院文部科学委員会にて審議されております。幼稚園型も保育所型もまだまだいろいろな面に腐心しているようですし課題の多い施策のように思われます。今、世の中の流れがハイスピードで展開しているだけに、しっかり動向を見極め県民の立場に立って行動する議員として頑張ってお参りますので、御指導とお力添えを宜しく願ひ申し上げます。



傍聴にお越し頂いた皆さま

2月議会 一般質問の内容と当局の答弁についてお知らせ致します。

子育て支援について

問：「出産費用の無料化」など早急に子どもを産める環境づくりをして欲しい。

答：今回の医療制度改革で出産育児一時金増額になり、県としても安心して子どもを産める社会づくりを進める。又、秋口を目途に子どもの多い世帯に経済的支援等を行う。（保健福祉部長）

問：0～3才までの「乳幼児手当て」を創設すべきと思うが、県の考えをたずねたい。

答：多額の財源要するので、国が開始した児童手当拡充を含む少子化対策の検討を見守る。（保健福祉部長）

問：子ども3人以上の「多子世帯に対する優遇策」や、割引制度・知事のお祝いメッセージなどを行うべき。

答：秋口を目途に本県独自の施策を考えている。（保健福祉部長）

問：「子育て支援」中小企業認定数が、まだ足りないのので、要件の見直しと充実を図るべき。

答：子育てしながら勤務できる実績のある企業を認証して行く。又、入札の優遇を図る。（商工労働部長）

青少年健全育成について

問：未来を担う青少年の健全育成について知事の考えをたずねたい。

答：ふくしま青少年育成プランを進め人々との交流、自然体験、ボランティア機会の充実をさせるなど、青少年健全育成に関する幅広い施策を展開していく。（知事）

問：有害なコミック雑誌の氾濫をどう考えるか。又、その対策についてたずねたい。

答：青少年健全育成条例の適用、目に触れさせない環境づくりと販売業者への指導啓発の徹底。（生活環境部長）

問：食育基本法制定後、児童生徒の朝食欠食について調査を行っているか。又、どう結果を活用していくのか。

答：現在16000人を対象にアンケートを進めており、今後の食に関する指導に活かして行く。（教育長）

問：高校生の文化活動推進のために県文化センター利用の前納制緩和をすべきと思うが、考えをたずねたい。

答：来年から実施できるよう指定管理者と協議して行く。（教育長）



(3月3日 登壇)

環境教育/産学官連携と産業創出など

問：環境教育学習機能を備えた「環境センターの整備」についてたずねたい。

答：県内外の有識者からなる検討会を行い、21世紀にふさわしいものを具現化する。（生活環境部長）

問：県は医療福祉機器開発や産業創出をどう支援していくのか。

答：知的クラスター形式事業など、研究から事業まで一体化支援。（商工労働部長）

問：日大工学部内に建設される「ものづくりインキュベーションセンター」に対し「ものづくり」の観点からどのように関わっていくのか。

答：入居企業に対しハイテクプラザ等による研究開発技術支援や大学等の共同研究の促進などを行う。（商工労働部長）

問：農業試験場跡地（富田町）の管理について、又、活用についてたずねたい。

答：窓の防護などで立ち入りを防ぐ。県としての利用計画がないため、地元郡山市の利用計画を確認している。（農林水産部長）

問：「ラフィーネ郡山」の今後と、現在の状況についてたずねたい。

答：公立学校共済組合と協議し、土地と建物一体売却を考え不動産鑑定を実施中。（教育長）

問：「総合水管理計画」について、県民や水関係団体の声を、どのように把握しているのかたずねたい。

答：県内3地方毎に、県民懇談会や未来を担う中学生と意見交換したり、産学民官の連携による骨子案を取りまとめている。（企画調整部長）

後援会の方々の活躍

管理栄養士・消費生活アドバイザー
〈上田 麗子さん〉

「食育」を知っていますか。いま日本では「食」に高い関心が寄せられています。その理由は、「食」が健康と心に密接にからんでいるからです。例えば生活習慣病は食べる物に気をつければ予防できます。しかし、2003年には糖尿病だけで1兆1423億円もの医療費が使われていて、その額は増加傾向にあります。早急な対策が必要ですが「予防のために何をどう食べれば良いか」という知識を持つ人は少ないのが現状です。又、家族揃っての食事と、手づくりが少なくなったことで食事のマナーや食文化、家族の連帯感などが失われつつあります。「食育」について何とかしたいという私のこの熱意と、長尾議員のあのパワフルなパワーを合体させて、頑張っていきたいと思っています。皆さんもどうか「この指とまれ！」



ディサービス「寿光庵」
〈渡邊 孝子 所長〉 024-991-9755

介護制度は、平成18年度から、予防介護をはじめとして地域社会と深く関わりながら、高齢者を支える制度へ移行しています。寿光庵は地元オピニオンリーダーのご指導と尽力の下、平成17年10月、指定ディサービスとして自宅を環境整備しました。施設は、小学校のグラウンド前に立地し、子供たちの元気な姿や声が間近に聞こえ、活発な地元町内会や公民館活動の特性を活かしながら、ご家族様や高齢者様のお役に立ちたいと思っています。

施設の概要は、一般型（予防を含む）と認知症型を合わせて25名の対応が可能です。特徴は、先の立地条件に加えて、純和風な安らぎのたたずまいに、作りたての食事、個別機能各訓練のほか、常駐するベテラン看護師とヘルパーが、安全できめ細やかな介護を行い大変喜んで頂いています。

また、多様化するニーズに応えるべく、指定夜間対応訪問介護・緊急時の宿泊などの受け入れも順次行う予定です。将来的には、「医療」「身体・知的障害」「介護保険」の3つのサービスを共有化する改革試案も示されている中、地域社会と共存する福祉を目標に、信頼を積み重ねていきたいと思っています。地域の皆様にも、「寿光庵」がより一層愛されるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願いたします。



富田よさこいクラブ指導者
〈渡部 真由美さん〉

「富田よさこい地域クラブ」が発足し、7年目になりました。長尾先生より「子どもは地域の人達皆で育てるものなのよ！」と投げかけられ、私はよさこいを知っている地域のおばちゃんとして子ども達に指導することとなりました。20人位の少人数で始まったクラブでしたが、年々会員が増え、昨年度は地域子育て支援センターのバックアップもあり、郡山市内からよさこいをやりたい子ども達を受け入れ、現在では120名の大所帯となりました。毎月の例会の他、各種イベントにも沢山参加してきました。

ここ数年、地区運動会のアトラクションで発表し、沢山の拍手と「上手だった」「踊りをみて元気をもらったよ」と嬉しい言葉を頂き、地域の方々から認めてもらえるようになりました。

また、東京では、『大江戸舞祭』に参加し、刺激とあこがれ、そして楽しい思い出づくりになりました。あるお母さんから、引っ込み思案だったが、このクラブに入ってから自信が持てるようになったのか学校で明るくなり、リーダーとして活躍するよう



になったとか。その他にも、毎日家で練習をかかさずに頑張り、イベントの本番では、祖父母を含む多勢の前で踊った我が子の姿を見て感動したというお父さん。このような話を聞かたびに続けていかなければと強く思うこの頃です。

グループホーム「もも太郎さん上ノ台」
〈高橋 傑 代表取締役〉024-961-6101

郡山市上ノ台にグループホーム2ユニットの設立にあたり、「紬のたけやま」さんの絶大なご協力を頂き、平成18年3月に開設する事ができました。土地と建物を提供頂いたのみならず、地域の説明会では区長さんを始め、役員の皆様宅にまで一緒に訪問頂き感謝にたえません。

本施設は、我が国の認知症唯一の専門施設であり、厚労省は介護保険法改定の最優先課題として取り組んでいます。地域密着型福祉施設の本施設は、小規模多機能型居宅介護施設であり、以下の理念をもって運営に取り組んでいます。

1. 「家族の絆」を大切に。夫婦、親子が一緒に暮らせる福祉施設を構築し、「人生のケア」に取り組む。
2. 「自由な生活」を最も尊重する。起床、就寝時間の自由や食事、入浴の自由等自宅で暮らすように過ごせるために「入居者権利憲章」を遵守する。

始まったばかりの介護保険での民生活は大変ですが、職員一同一杯頑張りたと思っています。

